

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

1. 社協組織の充実と会員の拡大

高齢になっても障がいがあってもすべての人が、いままで大切にしてきた家族やつながり、地域との関係の中で暮らし続けていくことができるような地域社会を作っていく「地域福祉」の推進を目的として、社協組織を運営し、事業推進における自主財源確保に努めた。

- (1) 理事会、評議員会を開催し情報の共有化を図るとともに、社協関連組織全体での研修会を開催、地域福祉についての理解を深め事業推進に努めた。

ア. 理事会の開催

第1回	平成28年5月17日
議案第1号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第2号)の専決処分について
議案第2号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第3号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第4号	平成28年社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について
議案第5号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事、監事及び評議員選任内規の一部改正について
議案第6号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員の選任同意について
議案第7号	大口社協訪問介護(介護予防訪問介護)事業所運営規程の一部改正について
議案第8号	大口社協訪問介護事業所運営規程の一部改正について
議案第9号	大口社協デイサービスセンター運営規程の一部改正について
その他	社会福祉法人制度改革について(説明)
第2回	平成28年9月27日
議案第10号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会社会福祉法人制度改革に伴う移行検討委員会設置要綱の制定について(取り下げ)
その他	社会福祉法人制度改革に伴う定款変更等について(説明)
第3回	平成28年10月24日
議案第11号	平成28年度「大口町表彰式」に係る被表彰者選考について
第4回	平成28年12月16日
議案第12号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会定款の全部改正について
議案第13号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会定款施行細則の全部改正について
議案第14号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事、監事及び評議員選任内規の一部改正について(取り下げ)
議案第15号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規程の制定について
議案第16号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任・解任委員選任規程の制定について
議案第17号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員の選任同意について

第5回	平成29年3月17日
議案第18号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会経理規程の全部改正について
議案第19号	平成29年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第20号	平成29年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について
議案第21号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事、監事及び評議員選任規程の制定について
議案第22号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について
議案第23号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について

イ. 評議員会の開催

第1回	平成28年5月30日
議案第1号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第2号)の専決処分について
議案第2号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第3号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第4号	平成28年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について
議案第5号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について
第2回	平成28年9月29日
その他	社会福祉法人制度改革に伴う定款変更等について(説明)
第3回	平成28年12月20日
議案第6号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会定款の全部改正について
議案第7号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について
第4回	平成29年3月29日
議案第8号	平成29年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第9号	平成29年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について
議案第10号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事及び監事の選任について

ウ. 研修会の開催

「平成28年度大口町社会福祉協議会合同研修会」

対象 社会福祉協議会理事・監事・評議員、民生委員・児童委員

講師 社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 地域福祉部長 石黒 学氏

開催日	場所	内容	参加数
平成29年 2月24日	健康文化 センター1階 多目的室	「社会福祉法人制度改革と小地域福祉活動のこれからの取組み」	57名

(2) 社会福祉協議会地域福祉活動計画の策定に向けて、情報収集及び策定方法の検討に努めた。

(3) 自主財源確保に努め、相互扶助推進の高揚を図り、会員募集に努めた。

*会員募集期間／7月～8月

*会費金額

一般会員 500円・賛助会員 1,000円・法人会員 3,000円

ア. 会員募集加入状況

*上段は平成28年度実績・下段は平成27年度実績

区分	加入数	金額	増減額	加入率
一般・賛助	4,884件	2,525,400円	▲20,874円	59%
	4,885件	2,546,274円		59%
法人	74件	471,000円	▲65,676円	/
	77件	536,676円		
合計		2,996,400円	▲86,550円	
		3,082,950円		

(加入率：各年度6月1日時点の大口町行政区別集計世帯数から寮世帯を除いた世帯数に対する会員加入数から算出)

2. 広報・啓発活動

町民の方々に広報やホームページなどさまざまな媒体を通して社協情報を発信した。

(1) 広報「社協だより」を年4回発行し情報提供の充実を図るとともに、「広報おおぐち」においても事業の啓発や案内を掲載し情報発信をした。

*社協だより発行月 4月・7月・10月・1月

*発行部数 8,500部

(2) 公式ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ、事業を公表、事業の利用及び参加・協力を働きかけた。

(3) 視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページから福祉情報を発信した。

(4) 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発に努めた。

ボランティア参加数 10団体 95名

スタンプラリー体験者数 398名

ア. ふくしわくわくランド

開催日	場所	参加団体	実施内容
11月5日	中央公民館 駐車場	①高齢者疑似体験 うさぎとかめ	装具体験、高齢者体験
		②要約筆記スマイル大口	OHP体験
		③大口町手話サークル	手話体験、クイズ
		④防災ボランティア D・サポート丹羽	防災クイズ
		⑤災害救援ボランティア	ハイゼックス炊飯体験、防災用品紹介
		⑥ボランティアなでしこ	手作り小物展示販売
		⑦大口絆つなぐネット	災害時炊き出し訓練 災害義援金募集
		⑧おもちゃ病院おおぐち	おもちゃ修理、回収
		⑨トヨタ紡織株	車いす掃除
		⑩大口町共同募金委員会	赤い羽根共同募金・災害 義援金募集、スタンプラ リー受付、障がい者スポ ーツ啓発
11月6日	おもちゃ 図書館	⑪大口おもちゃ図書館 さくら	おもちゃ遊び、バザー

(※) 大口絆つなぐネットのブース内において実施した岩手県遠野市社会福祉協議会・大口町社会福祉協議会 合同災害支援訓練については、「16. 防災・災害事業」(4)の項目で別記

3. ボランティア活動の強化と拡大

ボランティアの拡大を図るとともに、行政、NPO、市民活動団体等の機関との連携を図れるようコーディネートした。

- (1) 町内児童センターにおいて、ボランティアサークルによる「夏休みボランティア出前講座」を行い、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。

開催日	サークル名 (人数)	場所	内容	参加数
8月22日	音訳ボランティア たんぼぼ (4名)	西児童 センター	目が見えない方に声で 情報を届けよう	33名
8月25日	高齢者疑似体験 うさぎとかめ (5名)	南児童 センター	高齢者の不自由さを体 験しよう	46名
8月29日	要約筆記 スマイル大口 (5名)	北児童 センター	耳が聞こえない方に書 いて伝える大切さを楽 しく学ぼう	39名

- (2) 養成講座や研修を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図った。

ア. レクリエーションボランティアスキルアップ研修

講師 レクリエーションコーディネーター 林 栄五郎 氏

成果 平成27年度に実施したレクリエーションボランティア養成講座の修了者に対し、地域の行事や集いの場で活用できるレクリエーションのスキルを高めるための支援を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
5月25日	生きがい活動 支援センター	「手足を使ったあそび」 「身近な道具を使ったあそび」	12名

イ. 運転ボランティア養成講座

講師 名鉄自動車専門学校 教習部 稲波 英敬 氏

成果 ふれあいサロン等へ高齢者を送迎する運転ボランティアを育成し、安心・安全な運転の実践に必要な支援を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
6月24日	名鉄自動車 専門学校	交通安全運転講習 (教習場・路上コースでの実技指導、視野動体測定等)	4名

(※) 「17. 新しい総合事業」(2)の項目で別記

- (3) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催し、平成28年度研修テーマ「助け合い」について学び相互の交流を深めた。

開催日	場所	内容	参加数
7月8日	ひかり学園 (犬山市) 岩倉一期一会荘 花むすび(岩倉市)	知的障がい者支援施設、特別養護老人ホーム等の見学を通して、助け合いのボランティア活動を考える研修を行った。	28名

- (4) 「社協だより」にボランティアコーナー「ボランティア情報局」を掲載し情報を発信した。

- (5) ボランティア登録団体への活動育成費を助成した。

助成団体	助成金額
17団体	246,775円

- (6) ボランティア連絡協議会定例会を年6回開催し、情報の発信とボランティア相互の交流及び共通のテーマについての研修活動を支援した。

ア. 平成28年度テーマ「助け合い」に関する研修活動

開催日	講師・研修先	内容
5月13日 (第1回)	子どもと文化の森代表 岩根 佐代子氏	講話「子育て今昔」
7月8日 (第2回)	社会福祉法人ひかり学園 岩倉一期一会荘	施設見学(ボランティアセンター運営委員会合同研修)
9月9日 (第3回)	東海理化ボランティア センター長 水野 二一氏	講話「東海理化ボランティアセンターの活動について」
11月11日 (第4回)	キューピー株式会社 妻谷 勝弘氏	講演会「楽しく食べて健康に」
1月13日 (第5回)	中村 京子氏	ボランティア活動に役立つ健康法紹介 「あなたの身体は陰ですか陽ですか」
3月10日 (第6回)	ながお在宅クリニック 院長 長尾 強志氏	「高齢者の病気と予防について」

(7) ボランティア保険の加入及び事故時の保険金請求等の事務手続きを行った。

ア. ボランティア登録者状況

(ボランティア活動保険加入者数)

* 上段は平成 28 年度実績・下段は平成 27 年度実績

	団体数	人 数	男 性	女 性
グループ	57	889 名	354 名	535 名
	58	936 名	396 名	540 名
個 人		6 名	3 名	3 名
		9 名	4 名	5 名
計		895 名	357 名	538 名
		945 名	400 名	545 名
増減人員		▲50 名	▲43 名	▲7 名

イ. 事故件数 2 件

(被災地でボランティア活動中の釘踏み、町内でボランティア活動中の骨折)

(8) 町内企業と連携を図り協働事業を行った。

(※) トヨタ紡織(株)との協働事業(ふくしわくわくランド出展)については、
「3. ボランティア活動の強化と拡大」(4)の項目で別記

(9) ボランティア派遣依頼の調整を行った。

ア. 相談及び派遣件数

相談件数	派遣件数
7 件 (※)	7 件

(※) 相談件数は、本会の派遣決定を要さない相談・連絡調整のみの件数を含む

イ. 上記派遣件数のうち、学校からの依頼による派遣

協力団体 高齢者疑似体験 うさぎとかめ

開催日	場所	内容	参加数
11月17日	尾北看護 専門学校	老年看護学概論の講義として、学生 を対象に高齢者疑似体験の実践指導	44名

(10) 地域防災の一端(ボランティア対策部)を担う社協として、大規模災害時に備え関係団体等との情報共有と連携強化に努めた。

4. 児童福祉

次世代育成としての子育て支援や小中学校での福祉教室、青少年ボランティア福祉体験学習事業を実施することにより、命の大切さや「ともに生きる」力を育くみ、地域の一員としての自覚が芽生えるよう事業を推進した。

(1) 町内小中学校と協働し福祉教室（福祉実践教室・総合学習）を実施した。

ア. 参加人数・実施科目等

学校名	学年	教室数	参加人数	実施科目
大口中学校	1年	7教室	223名	知的障がい・発達障がい理解
南小学校	3年 ～ 6年	5教室	211名	手話教室（3年）、点字教室（4年）、車いす体験（5年）、盲導犬教室（6年）
北小学校	3年	4教室	116名 (延348名)	車いす体験、手話教室、高齢者疑似体験、盲導犬教室
西小学校	6年	9教室	87名 (延435名)	手話教室、点字教室、防災教室、車いす体験、高齢者疑似体験、視覚障がい者ガイドヘルプ、盲導犬教室
4小中学校合計		25教室	延1,217名	

(2) 子育て支援サークルに助成した。

(3) おもちゃ病院おおぐちの活動を支援した。

(4) 青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施した。

期間	場所（町内高齢者及び児童福祉施設等）	参加数
8月22日 ～ 8月26日	①軽費老人ホーム 大口一期一会荘 ②特別養護老人ホーム 御桜乃里 ③グループホームしん・かむおん ④デイサービスゆい ⑤大口社協デイサービスセンター ⑥南・北・西児童センター ⑦南・北・西・中保育園 ⑧大口幼稚園、ラ・モーナ幼稚園	延86名 (大口中学校 JVC)

(5) 民生委員児童委員が行うドアノッキング事業に協力し、赤ちゃん訪問時に祝い品をプレゼントした。

項目	5ヶ月訪問	1歳訪問
配布数（品目）	239名（絵本）	240名（スプーンセット）

(6) 子育てサロン「まむ・まむ」の活動支援を行った。

(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(7) 親子や家族で参加できる親子福祉教室（施設見学バスツアー）を実施し、家族で福祉について考える機会を提供した。

見学施設数 13か所（うち施設内見学4か所、給食試食1か所）

参加者数 24名（大人18名、小・中学生6名）

開催日	種別	施設名称	見学方法
8月3日	障がい者	NPO法人MODSグリーンファーム	施設内見学 野菜収穫体験
	高齢者	軽費老人ホーム大口一期一会荘	施設内見学 給食試食
	高齢者	老人保健施設 さくら荘	施設内見学 説明
	高齢者	大口社協デイサービスセンター 大口町生きがい活動支援センター	施設内見学、レクリエーション体験
	高齢者	大口ケアセンターあかり	外から見学・資料により施設紹介
	高齢者	みつばのシルバーハウスおおぐち	
	児童	発達支援室 ふきの塔・そらま芽	
	障がい者	ハートフル大口	
	高齢者	特別養護老人ホーム 御桜乃里	
	高齢者	有料老人ホーム 太郎と花子	
	高齢者	NPO法人わたぼうし	
	高齢者	じゃがいもグループホームしん・かむおん	
高齢者	Kライン・ケアレジデンス大口		

5. 高齢者福祉

高齢者にかかる地域課題について専門機関、福祉施設、行政、地域関係者との調整を図りながら解決に向けた取組みを展開し、さらに高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる「地域づくり」の推進や要介護者に対する支援事業の拡大に努めた。

- (1) 民生委員児童委員、ボランティアの協力で、80歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理配布事業を実施した。

実施日 平成28年12月30日

項目	単身高齢者世帯	高齢者世帯	合計
配布数	97世帯	35世帯	132世帯

- (2) 町内対象者、施設入所者に対し「敬老の日」のお祝い品を贈った。

実施日 平成28年9月16日

項目	在宅	施設	合計
配布数	147名	152名	299名

- (3) 「社協だより」に介護者向け情報「介護豆知識」を掲載し、情報を発信するとともに、情報冊子として対象世帯に配布した。

- (4) 弁護士による相談日を設けた。(※)「12. 相談事業」の項目で別記

- (5) 認知症の当事者家族の支援や介護予防の取り組みとして、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援した。大口町地域包括支援センターと大口町歴史民俗資料館の協力を得て、介護相談や回想法を取り入れたレクリエーションを実施した。

開催日	内容	参加者数	内スタッフ数
4月21日	昔なつかしい道具たち (学校)	31	12
5月19日	写真で回想法 (田んぼ)	26	11
6月16日	写真で回想法 (蚊帳)	32	12
7月21日	昔なつかしい道具たち (夏のあそび)	31	12
8月18日	昭和の映画、歌謡イントロクイズ	31	11
9月15日	写真で回想法 (運動会編)	29	11
10月20日	昔なつかしい道具たち (秋祭り)	37	12
11月17日	昭和歌謡イントロクイズ	32	12
12月15日	昔なつかしい道具たち (年末大掃除)	29	10
1月19日	昔なつかしい道具たち (お正月)	39	12
2月16日	昔なつかしい道具たち (暖房器具)	41	12
3月16日	昔なつかしい道具たち (箱膳) 2周年祝	31	11
合計		389	138

- (※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(6) 介護者のつどいを開催し、介護者同士の交流の場やリフレッシュできる機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
11月10日	生きがい活動支援センター	ながお在宅クリニック医師による在宅医療に関するミニ講演会 介護者どうしの茶話会	15名

(7) 大口町高齢者軽度生活援助事業（ホームヘルパー）を受託した。

(8) 大口町生きがい活動支援通所事業（デイサービス）を受託した。

(9) 大口町はつらつ健康体操（いきいき教室）を受託した。

(※) 「14. 在宅福祉サービス3事業所の経営」の項目で別記

6. 障がい児者福祉

障がいがあってもいきいきと暮らしやすい地域にしていくことを目指し、専門家による相談事業の充実や外出支援、参加型事業の推進に努めた。

(1) 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「第32回大口町障がい者スポーツ大会」を開催した。

障がいをお持ちの方とその家族が、スポーツをとおして仲間や地域住民、民生委員、ボランティア等と交流し、社会参加の一助となる機会を提供することができた。

参加者 身体障害者福祉協会、心身障害児（者）親の会、その他一般参加
協力団体 丹羽高校吹奏楽部、仲沖太鼓クラブ、JOY☆UP、江南ロータリークラブ、(株)東海理化、民生委員・児童委員協議会、ボランティア連絡協議会

開催日	場所	内容	参加数
6月11日	中央公民館 集会室	ナイスシュート、車いす競争 パン食い競争、デカパン競争 玉おくり、玉入れ ディスクッター・アキュラシーの 障がい者スポーツデモンストレーション、障がい者ダンスチームJOY☆UPアトラクション、丹羽高校バンド演奏、総踊り	303名

(2) 重度身体障がい者日帰り事業を開催し、外出の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
10月14日	ラグーナ蒲郡 ラグーナテンボス	貸切りフト付きバス利用。フラワーラグーン散策、ハウステンボス歌劇団見学等	18名

(3) 大口おもちゃ図書館「さくら」の活動を支援した。

(4) 弁護士による相談日を設けた。

(※)「12. 相談事業」の項目で別記

(5) 大口町障害者等地域生活支援事業（移動支援事業）を受託した。

(※)「15. 在宅福祉サービス3事業所の経営」の項目で別記

(6) 精神障がい者を対象とするふれあいサロン「フリースペース れんげそう」の運営を支援した。

(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(7) 大口町心身障害者児（者）親の会とともに、福祉映画会を開催した。

開催日	場所	内容	入場者数
7月3日	町民会館 2階大ホール	親の会設立35周年を記念し、障がい者理解と啓発につながる映画「くちびるに歌を」を上映した。	336名

7. 母子父子福祉

ひとり親家庭対象の事業を実施し、生活課題や問題点について検討、相談事業の充実や教育における貸付事業の周知を図りながら、自立支援できる体制づくりを推進した。

(1) ひとり親家庭日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
8月6日	鳥羽水族館とお伊勢さん (三重県)	貸切大型バスを利用。アトラクションの体験等	16家族 39名

- (2) 母子家庭等に対する就業支援として「就業相談日」を月1回設けた。
- (3) 母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努めた。
- (4) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈った。

項目	お祝金	件数	合計件数
小学校	3,000 円	2 件	19 件
中学校	3,000 円	8 件	
高校等	5,000 円	9 件	

- (5) 母子寡婦福祉資金等貸付制度を紹介し生活を支援した。

8. ふれあいサロン事業

ふれあいサロン立ち上げの支援や活動費に対する助成を行いながら、地域の見守り活動や地域の活性化につながるよう運営についての相談や支援を行った。

- (1) サロン設立初年度における備品助成を行った。

対象サロン数	助成金額
2 か所	36,682 円

- (2) 開催実績回数（上限48回）に対し助成を行った。

対象サロン数	助成金額
13 か所	280,000 円

- (3) サロンに対するボランティア行事用保険の加入手続きを行った。
- (4) サロン活動に必要な備品の貸出を行った。
- (5) サロンのPRや広報等ちらしを作成し活動を支援した。
- (6) 各サロンが一同に会し情報交換できる「ふれあいサロン交流会」について、平成29年度に始まる介護予防・日常生活支援総合事業の中で、ふれあいサロンが住民主体の自主的な通いの場として重要な社会資源となることを踏まえ、平成28年度は交流会のあり方を見直す期間として、次年度以降の開催に向けて情報収集や事業内容の検討を行った。

ア. 平成28年度ふれあいサロン開催実績

	種別	サロン名	開催日	場所	開催回数 参加者数
1	地域	外坪 ほっこり	第2・第4水曜日 9:00～12:00	外坪学共	24回開催 延805名
2	地域	大屋敷新田 いっぷく茶屋	第1土曜日 9:30～11:30	新田集会場	9回開催 延395名
3	地域	上小口萩島 茶々会	第2土曜日 13:30～16:00	萩島集会場	12回開催 延161名
4	地域	さつきヶ丘 サロンさつき	毎週水曜日 10:00～16:00	さつきヶ丘 防災センター	48回開催 延2,880名
5	地域	さつきヶ丘 元気会	第1金曜日 第3火曜日 13:00～15:30	さつきヶ丘 防災センター	22回開催 延315名
6	地域	大屋敷 にこにこ	第1・第3水曜日 9:30～11:30	大屋敷学共	23回開催 延311名
7	地域	河北 陽だまり	第2水曜日 9:30～11:30	河北区学共、仲沖集 会場、二ツ屋学共	11回開催 延502名
8	地域	替地 ふれあいサロン	第2・第4日曜日 21日 9:00～12:00	替地集会場	29回開催 延256名
9	障がい	フリースペース れんげそう	第2・第4木曜日 13:00～16:00	健康文化センター 4階 和室	24回開催 延432名
10	障がい	忘れな草の会	水曜日月2～4回 9:00～16:00	健康文化センター 2階または4階	4回開催 延34名
11	傾聴	傾聴サロン 笑桜会	第3火曜日 13:00～15:00	老人福祉センター 1階 憩い処さくら 屋	12回開催 延182名
12	子育て	子育てサロン まむ🌸まむ	毎週火曜日 10:00～12:00	健康文化センター 2階 おもちゃ図書 館	50回開催 延1,543名
13	介護・認 知症予防	オレンジカフェ・ 大口	第3木曜日 13:30～15:00	生きがい活動支援 センター	12回開催 延389名
サロン数合計			13か所	総参加者数	延8,205名

9. 福祉関係団体の育成・助成

町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図った。

団 体 名	金 額
身体障害者福祉協会	450,000 円
心身障害児（者）親の会	110,000 円
更生保護女性会	10,000 円
遺 族 会	380,000 円
母子寡婦福祉会	80,000 円
保護司会	10,000 円
大口しらゆり会	40,000 円
尾北地区聴覚障害者福祉会	20,000 円

10. 共同募金

共同募金運動への理解・協力を高めるため、募金の意義についての周知を図り、財源の充実と事業の拡大を進めた。

- (1) 大口町共同募金委員会運営委員会を年3回開催し、共同募金事業計画を策定し共同募金運動の推進を図った。

ア. 大口町共同募金委員会運営委員会

開催日	場所	内容
6月6日	健康文化 センター1階 会議室	平成27年度の実績・監査結果報告 平成28年度の募金目標額及び赤い羽根共同募金配分金事業について
9月2日		第68回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールの第一次審査 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい街頭募金活動について
平成29年 2月23日		平成28年度赤い羽根共同募金実績報告 災害義援金送金実績報告 児童生徒作品コンクール結果報告

イ. 赤い羽根共同募金：期間 10 月 1 日から 12 月 31 日

* 上段は平成 28 年度実績・下段は平成 27 年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率	
3,550,000 円	戸別	11 区	2,460,280 円	52,680 円	96.1%
		11 区	2,407,600 円		
3,440,000 円	法人	4 社	60,000 円	▲328,276 円	
		6 社	388,276 円		
	街頭	5 回	90,212 円	4,385 円	
		3 回	85,827 円		
	職域	31 社	472,389 円	▲124,586 円	
		29 社	596,975 円		
	その他	3 件	330,126 円	312,277 円	
		3 件	17,849 円		
合計			3,413,007 円	▲83,520 円	
			3,496,527 円		

ウ. 歳末たすけあい募金：期間 12 月 1 日から 12 月 31 日

* 上段は平成 28 年度実績・下段は平成 27 年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率	
150,000 円	街頭	1 回	75,964 円	13,038 円	91.0%
		1 回	62,926 円		
	職域	17 社	40,484 円	▲14,590 円	
		16 社	55,074 円		
160,000 円	法人	0 社	0 円	0 円	
		0 社	0 円		
	その他	3 件	20,181 円	10,181 円	
		4 件	10,000 円		
合計			136,629 円	8,629 円	
			128,000 円		

(2) 共同募金配分金事業の推進と充実を図った。

(3) 共同募金配分金事業を広く PR をし、協力事業所の拡大と、住民の認識を高めた。特に職域募金について、従業員間で直接募金を呼びかける職域募金活動の輪を広げる「赤い羽根共同募金バトンリレー」を支援した。

ア. 赤い羽根共同募金バトンリレー募金実績

実施事業所	募金額	参加数
トヨタ自動車株式会社	45,685 円	トヨタ自動車 (株) 8 名、ホンダロジコム (株) 5 名、キムラユニティ (株) 9 名、大口市共同募金委員会役職員 5 名

(4) 町内店舗、ふれあいまつり等において協力団体による街頭募金を実施した。

ア. 街頭募金実績

募金種別	実施場所	募金額	協力・実施団体
赤い羽根共同募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	38,118 円	大口町民生委員児童委員協議会
赤い羽根共同募金	町民体育祭	30,376 円	ボーイスカウト大口第1団
赤い羽根共同募金	ふれあいまつり	21,718 円	大口絆つなぐネット 大口町共同募金委員会
歳末たすけあい募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	75,964 円	大口町更生保護女性会

(5) 募金機能付自動販売機を設置し募金活動の普及に努めた。

ア. 募金実績 (※赤い羽根共同募金の「その他募金」実績額に含まれる)

設置場所	募金額
軽費老人ホーム大口一期一会荘 1 階	319,901 円
大口町健康文化センター1 階	

(6) 災害復興義援金の窓口を設置し、募集・送金を行った。

ア. 送金実績

義援金名称	送金額
平成 28 年熊本地震義援金	734,531 円
平成 28 年熊本地震義援金	300,000 円
平成 28 年 8 月 20 日からの大雨 (台風 9・10・11 号等) 義援金	2,450 円
平成 28 年熊本地震義援金	32,694 円
平成 28 年熊本地震義援金	19,502 円
岩手県台風 10 号大雨等災害義援金	4,590 円
平成 28 年熊本地震義援金	4,590 円
鳥取県中部地震義援金	4,590 円
合 計	1,102,947 円

11. 貸付事業

安定した生活を図るために他の資金の借入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方を含む世帯にご利用いただき貸付事業を行った。

さらに、貸付世帯に対する貸付後の訪問や相談支援を行いながら、償還指導を包括的に行った。

(1) 生活福祉資金貸付制度

ア. 相談件数 38 件

項目	福祉資金		教育支援資金
	福祉費	緊急小口資金	
件数	1 件	25 件	12 件

イ. 貸付状況

* 未償還額 (4)=(1)+(2)-(3)

資金種類		件数	貸付金額(元金) (1)	貸付利子 延滞利子(2)	累計償還額 (3)	* 未償還額 (滞納額を含む) (4)
福祉 資金	福祉費	3 件	2,320,000 円	1,096,740 円	970,710 円	2,446,030 円
	緊急小 口資金	7 件	570,000 円	339,636 円	78,000 円	831,636 円
離職者支援資金		1 件	2,400,000 円	1,613,800 円	57,140 円	3,956,660 円
総合支援資金		5 件	2,934,000 円	547,266 円	216,175 円	3,265,091 円
教育 支援 資金	教育 支援費	9 件	7,191,000 円	185,472 円	5,290,500 円	3,169,972 円
	就学 支度費	4 件	1,084,000 円			
計		29 件	16,499,000 円	3,782,914 円	6,612,525 円	13,669,389 円

(2) 県くらし資金（愛知県社会福祉協議会 原資 200,000 円）

ア. 貸付状況

* 上段は平成 28 年度実績・下段は平成 27 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	* 未償還額(3)
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円

(3) 町くらし資金（大口町社会福祉協議会 原資 2,000,000 円）

ア. 貸付状況

* 上段は平成 28 年度実績・下段は平成 27 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	* 未償還額(3)
49 件	917,000 円	146,000 円	771,000 円
37 件	792,000 円	117,000 円	675,000 円

(4) 緊急一時貸付等

生活困窮者への緊急食糧支援として、関係機関と連携しフードバンクへつなぐ対応を行った。

12. 相談事業

専門機関や専門知識を持つ相談員による相談窓口を開設し、日常生活の悩みごとや地域における問題解決のための相談を行った。

(1) 心配ごと相談所

第1・第3水曜日 午前10時から午後3時30分

県女性相談員による女性相談、県母子父子自立支援員による自立支援相談
(第3水曜日は県女性相談員による女性相談のみ)

第4水曜日 午後1時30分から4時30分

高齢者・障がい者のための弁護士相談

ア. 相談状況 延38件 (男性4名・女性34名)

相談内容															合計
生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	健康・医療	精神	人権・法律	財産	児童福祉	教育・青少年	心身障がい	ひとり親家庭	高齢者福祉	苦情・その他	
1	2	3	8	7	1	4	4	7	0	0	2	7	3	3	52

(2) 総合福祉相談窓口常設

病気や障がい、認知症、生活困窮等、さまざまな理由により生じた日常生活の困りごとに関して、幅広く相談に応じた。必要に応じて、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理や書類等の預かり等を行った。

ア. 相談状況 5件 (男性2名・女性4名)

援助内容		合計
相談のみ	金銭管理等	
3件	65件	68件

13. 日常生活自立支援事業

専門員による相談窓口を開設し、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。

- (1) 福祉サービス利用に関する相談・情報提供や手続きの支援
- (2) 日常的な金銭管理サービス
- (3) 書類や通帳等の預かりサービス

ア. 相談状況

問合せ・相談のみ
(初回相談受付含む)

対象者	相談件数
認知症高齢者	2件
知的障害者	3件
精神障害者	0件
不明・その他	1件
合計	6件

イ. サービス利用状況

福祉サービス利用援助契約者数 2名
相談援助(金銭管理、書類等預かり含む)

対象者	相談援助件数
認知症高齢者	0件
知的障害者	344件
精神障害者	322件
不明・その他	0件
合計	666件

14. 貸出事業

町民、行政区、学校、企業などを対象に各種貸出サービスを行った。

目的：地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援

- (1) 車椅子 (2) 松葉杖 (3) 福祉車両 (4) 綿菓子機
- (5) ポップコーン機 (6) 福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ)
- (7) 障がい者スポーツ用具(ドッジビー・ボッチャ・ディスクッター等)

ア. 貸出状況 * 上段は平成28年度実績・下段は平成27年度実績

種 類		種 類	
車イス・松葉杖	109件	福祉車両・ 普通自動車	17件
	135件		22件
綿菓子機・ ポップコーン機	15件	福祉教材・ サロン用備品等	18件
	30件		13件
障がい者スポーツ 用具	10件	合計	169件
	—		200件

15. 在宅福祉サービス3事業所の経営

介護保険法や障害者総合支援法における介護サービスのほか、独自サービスや行政からの委託事業などを実施し、在宅生活を支えた。

- (1) 大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）
- (2) 大口社協訪問介護事業所（介護・介護予防・障害者総合支援・独自・委託事業）
- (3) 大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防・独自・委託事業）

ア. 3事業所の実績

* 上段は平成28年度実績・下段は平成27年度実績

* 利用者数（延べ人数）は、平成28年1年間の延べ利用者数
平成29年3月末現在の実利用者数

①大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）

区 分	予 防	介護度1～2	介護度3～5	合 計
利用者数 (延べ人数)	247名	511名	205名	963名
	254名	502名	187名	943名
利用者数 (実人数)	21名	44名	17名	82名
	21名	44名	13名	78名
収 入	977,460円	7,992,951円		8,970,411円
	1,022,853円	7,880,891円		8,903,744円
増 減	▲45,393円	112,060円		66,667円

②大口社協訪問介護事業所（介護・介護予防・障害者総合支援・独自・委託事業）

区 分	居宅介護等	軽度生活援助	障害者総合支援	合 計
利用者数 (延べ人数)	4,474名	338名	2,086名	6,898名
	4,915名	240名	1,591名	6,746名
利用者数 (実人数)	33名	7名	31名	71名
	35名	6名	29名	70名
収 入	13,170,091円	709,800円	10,274,202円	24,154,093円
	15,616,334円	504,000円	8,476,968円	24,597,302円
増 減	▲2,446,243円	205,800円	1,797,234円	▲443,209円

③大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防・独自・委託事業）

区 分	通 所 介 護	生きがい活動	いきいき教室	合 計
利用者数 (延べ人数)	㊦896名、㊦3,163名	438名	2,099名	6,596名
	㊦897名、㊦3,397名	435名	1,564名	6,293名
利用者数 (実人数)	㊦8名、㊦22名	10名	27名	67名
	㊦13名、㊦17名	9名	30名	69名
収 入	30,997,973円	1,817,748円	5,457,400円	38,273,121円
	32,625,783円	1,898,800円	4,066,400円	38,590,983円
増 減	▲1,627,810円	▲81,052円	1,391,000円	▲317,862円

(4) 毎月経営会議を開催し、経営強化に努めた。

(5) 介護職員の研修会等への参加を促進し、スキルアップやサービスの質の向上に努めた。愛知県ホームヘルパー連絡協議会ブロック別研修会開催に努めた。

16. 防災・災害事業

防災・災害に関する啓発活動や、ボランティア団体等と協働し、災害救援や防災のノウハウを広めながら、町民の防災意識の高揚を図った。

(1) 大口町防災啓発事業を受託した。

(2) 防災・災害に関する講演会を開催し地域の防災意識の高揚と、防災力の向上を図った。

(3) ボランティア団体とともに防災・災害に関する講座及び訓練を実施した。

ア. 防災講演会

講師 岩手県遠野市長 本田 敏秋 氏

演題 「大規模災害時の後方支援活動の重要性について」

開催日	場所	内容	参加数
平成28年 7月16日	健康文化 センター4階 ほほえみホール	東日本大震災以降に遠野市が行った官民一体・自治体間連携による被災地後方支援の重要性を伝え、南海トラフ巨大地震発生時に後方支援拠点となりうる大口町の住民・関係者の防災意識を啓発した。	202名

イ. 家具固定ボランティア養成講座（啓発講座）の開催

講師 一般社団法人わがやネット 吉田 眞先 氏

成果 災害時に家具転倒による被害を防ぐ家具固定について、自分で家具固定をすることが難しい高齢者や障がい者等のお手伝いをするボランティア養成の第一歩として、ボランティアや町民に対して啓発を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
平成28年 11月9日	大口町役場2階 会議室及び 防災倉庫	家具固定の基礎を学び、ガラス飛散防止フィルム張り、ボードの下地探し、木枠によるビス打ち等の実習を行った。	10名

(※)「17. 新しい総合事業」(2)の項目で別記

(4) 岩手県遠野市社協との相互応援協定締結により災害時相互応援協定継続事業を実施した。

ア. 岩手県遠野市社会福祉協議会・大口町社会福祉協議会 合同災害支援訓練

「災害時相互応援協定」に基づき、遠野市社会福祉協議会役職員と遠野市綾織地区住民が「大口町支援訓練隊」として来町し、被災地後方支援活動を想定した合同災害支援訓練、勉強会を実施した。

実施日	場所	内容	参加数
11月4日	生きがい活動 支援センター	遠野市社協より、東日本大震災の現状及び平成28年8月岩手県台風10号災害支援の報告。遠野市社協の経験を大口町の災害対策に生かすための勉強会を行った。 また、災害時炊き出し訓練の下準備を行った。	遠野市関係者 14名 大口町社協 17名
11月5日	中央公民館 駐車場 (ふれあいまつり会場)	遠野市関係者と大口町のボランティア・社協職員が合同で、災害時炊き出し訓練として、ひつつみ汁50食とジンギスカンの試食を調理。ふれあいまつり来場者を避難者と想定して配布した。	遠野市関係者 14名 大口絆つなぐ ネット 4名 大口町社協 15名

17. 新しい総合事業

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、単身高齢者世帯や高齢者のみの世帯、認知症の増加が予想される中、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」を目指し、行政・関係者ととも大口町の地域に合った支え合いの仕組みづくりを研究し、生活支援・介護予防サービスにつながる研修等を開催した。

- (1) 地域自治組織主催の行事やふれあいサロン等に出向き、住民と対話のできる関係づくりに努めた。
- (2) 生活支援・介護予防サービスの担い手の養成につながるレクリエーションボランティアや運転ボランティア、災害時に高齢者等の安全を守る家具固定ボランティアに関する研修・講座を行った。
- (3) 町の社会資源を把握するため、既存の地域活動団体や介護事業所等の情報収集に努めた。
- (4) 新しい総合事業移行に向け、行政及び関係団体等との総合事業勉強会や在宅医療・介護連携会議等に参加し、地域包括ケアシステムや支え合いの仕組みづくり、生活支援・介護予防サービスのあり方等について研究した。

18. 福祉関連事業

- (1) 福祉事業功労の顕彰や講演会等を開催した。

ア. 大口町表彰式典

開催日	場所	顕彰者	参加数
11月23日	健康文化 センター4階 ほほえみホール	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会会長表彰 福祉団体の会長5年以上 1名 家庭介護5年以上 1名 民生委員児童委員5年以上 10名 ・社会福祉協議会会長感謝 福祉事業増進のために寄付した団体 2団体 	96名 (会全体)

イ. 愛知県社会福祉大会

開催日	場所	顕彰者	参加数
10月25日	愛知県体育館	大口町社会福祉協議会推薦分 県社会福祉協議会会長表彰 1名 県社会福祉協議会会長感謝 1団体	約1万名 (会全体)

(2) 点字投票制度への協力を行った。

(3) その他社会福祉事業に必要な事業を推進した。

ア. 西尾張ブロックボランティアフェスティバル

実施日	場所	内容	参加数
11月29日	津島市文化会館	「よりそい愛 ささえ愛 ～手と手を携えて～」をテーマに、西尾張ブロック14市町村のボランティア団体・社会福祉協議会と共催し、ブース出展活動による発表と相互交流、講演会等を実施した。 *大口町参加団体数 1団体 ボランティアなでしこ (6名)	872名 (会全体)

(4) 社会福祉事業に関する福祉サービス苦情解決制度により、苦情解決を行った。

ア. 第三者委員への苦情報告件数 6件